

令和四年度 京都府公立高等学校入学者選抜

前期選抜学力検査

共通学力検査

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の**答の欄**に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 **字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。**
- 9 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 木曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**【1】** 答の番号

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なもの
のを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………**【2】** 答の番号
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、奇数をすべて選べ。……………**【3】** 答の番号

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)	【1】				
【3】	【2】	【1】				
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	ア イ (ウ)	金 曜日				
【3】	【2】	【1】				

共通学力検査					
国語					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

この部分は著作権の関係により掲載していません。

【下へつづく】

(中村隆文『正しさ』の理由)による)

注

* 忌む：好ましくないものとして避ける。

* 本書で紹介した議論：本文より前の部分で、倫理的な問題について様々な説を踏まえて筆者の意見が述べられている。

* 原理主義者：特定の理念や原則に基づくことを厳格に守る人。

- (1) 本文中の ^a ままならない の意味として最も適当なものを、次のⅠ群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、本文中の ^d しよせん の意味として最も適当なものを、後のⅡ群(カ)～(ケ)から一つ選べ。……………

【1】 答の番号

- I群
- (ア) 責任がとれない (イ) いつも変わらない
- (ウ) 心が休まらない (エ) 思いどおりにいかない
- II群
- (カ) 落ち着くところは (キ) 長期的に捉えると
- (ク) 悲しいくらいに (ケ) 広い意味では

(2) 本文中の ^b そうした痛み は、何によって引き起こされるものか。最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【2】

- (ア) 他者と自分の価値観に相違がないこと。
- (イ) 他者や自分の気持ちを損なうような交流がないこと。
- (ウ) 他者に対する考えが自分の中で変化すること。
- (エ) 他者と自分が意思疎通をする中で食い違いが生じること。

(3) 次の文は、本文中の「^c あった」にすぎないものとすれば、^a に関して述べたものである。文中の に入る表現として最も適当なものを、後の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【3】

痛みの意味が「^c あった」にすぎないものだとすることは、その人との関係がそれ以上にはならないことを示しており、痛みを認め、 とすべきところを、しななかった状態を指している。

- (ア) 自分が求めることと相手の重要性を確認し、相手の振る舞いを見直そう
- (イ) 自分の行動や相手が重要であることを再確認し、相手の願望をかなえよう
- (ウ) 相手の重要性を認識し、自分の思いを踏まえて適切な行動を検討しよう
- (エ) 相手が重要でも、関係を希薄にすることによって自分の痛みを退けよう
- (4) 本文中の ^e 陥る と ^f 遡って の漢字の部分の読みをそれぞれ平仮名で書け。…………… 答の番号【4】

(5) 本文中の ^g うまく生きて は、二つの文節に区切ることができる。この文節どうしの関係として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【5】

- (ア) 修飾・被修飾の関係 (イ) 補助の関係
- (ウ) 主語・述語の関係 (エ) 並立の関係
- (6) 本文中の ^h 加タン の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。…………… 答の番号【6】

(7) 本文中の ⁱ それ の指す内容として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【7】

- (ア) 問いに対する答えが多様であると指摘し、たとえ真剣に臨んだとしても自分一人で問いを解決することはできないと思うことで痛みを回避すること。
- (イ) 問いの不完全さを示したり、問う者を非難したりして問いとしての意味を失わせて、自分が向き合うべきことではないと思うことで痛みを回避すること。
- (ウ) 問う者に一方的な評価を加えるために、論理の矛盾点を指摘して問いを破綻させ、自分が問われるべき理由はないのだと思うことで痛みを回避すること。
- (エ) 問いが難解だと指摘したり、問う者を追及して真意を解明したりして、問いが自分を非難するものとして不十分だと思うことで痛みを回避すること。

(8) 次の会話文は、仁さんと唯さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

仁 本文では、「痛み」を感じることは悪くはないと述べられているよ。

唯 そうだね。他者との関係の重要性ゆえに私たちは痛みを感じるし、その痛みは、自分が他者に対して相互理解を求めていた ^A だから、私たちにとって有用だとも言えるんだね。

仁 うん。痛みから逃げず、自分を問い直すことは、「世界に対する自分の関わり方の可能性」が開かれることになるよと本文から読み取れるね。

唯 つまり、自分の世界は、今の自分が持つ ^B によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して ^C を深めることも可能にするんだね。そうして自分自身の人生をより良いものにしていくことが、私たちにとって適当なことなのではないかと筆者は述べているよ。

- ① 会話文中の ^A に入る最も適当な表現を、本文中から十字で抜き出して書け。…………… 答の番号【8】
- ② 会話文中の ^B・^C に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、^B は十字以上、十三字以内で、^C は四字以上、八字以内で書け。…………… 答の番号【9】

下書き用

C	B
4	10
8	13

によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して

この部分は著作権の関係により掲載しておりません。

二

次の文章を読み、問い(1)～(7)に答えよ。(19点)

【1】～【10】は、各段落の番号を示したものである。

【へんこく】

(三浦均「映像のフュシス」による……一部表記の変更や省略がある)

注

- * エルンスト・マッハ：オーストリアの哲学者。
- * 仔細：くわしく細かなこと。
- * 自己の内面のビジョン：自己の心の中に思い描くもの。
- * 慮る：深く考える。
- * プロタゴラス：古代ギリシャの哲学者。本文の「人間は万物の尺度である」はプロタゴラスの考えを表す言葉。
- * 相対主義：哲学で、真理・規範・価値などが、唯一絶対であることを否定して、すべて個人や社会と相対的なものであると考える立場。
- * 脆弱さ：もろくて弱い性質。
- * テアイトレス：古代ギリシャの数学者。
- * ソクラテス：古代ギリシャの哲学者。
- * 外郭：周囲のかこい。

(1) 本文中のこの「自画像」には、意表を突かれます と筆者が述べる理由を説明したものとして最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) マッハの「自画像」は、慣れ親しんだ自画像に疑問を持つことが少ない私たちの、客観的視点から見た自己の不明瞭さを問いかけてくるから。
- (イ) マッハの「自画像」は、主観的な世界の境界を意識することが少ない私たちに、主観的な世界の境界を誤りなく理解させるから。
- (ウ) マッハの「自画像」は、客観的視点による自画像に慣れた私たちに、身体と意識の間にある感覚を忘れていくという事実を思い出させるから。
- (エ) マッハの「自画像」は、客観的視点による自画像を見る機会が多い私たちに、主観的な世界の境界に普段は気づいていないことを認識させるから。

(2) 本文中の閉じるの活用の種類として最も適当なものを、次のI群(ア)～(ウ)から一つ選べ。また、閉じると同じ活用の種類である動詞を、後のII群(カ)～(サ)からすべて選べ。

I群	II群
(ア) 五段活用	(カ) 遊ぶ
(イ) 上二段活用	(キ) 得る
(ウ) 下一段活用	(ク) 浴びる
	(ケ) 察する
	(コ) 飽きる
	(サ) 切る

答の番号【11】

(3) 本文中の世界との距離感を獲得していきます について説明したものと最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 手に取ることができなくても、対象の大小や様相、対象との隔たりなどを身体センサーを使って知覚していくこと。
- (イ) 手に入れることができなくても、対象の規模や種類、対象との相性などを身体に備わった感覚を動員して把握していくこと。
- (ウ) 直接触れることができなくても、対象の長さや気配、対象との遠近などを五感を働かせて体系的に整えていくこと。
- (エ) 手で触れることができなくても、対象の大きさや形態、対象との間隔などを身体を用いて周囲に知らせていくこと。

(4) 本文中のそうです と同じ意味・用法で そうです が用いられているものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 美術部の作品展の来場者数は、予想を大きく上回ったそうです。
- (イ) 母親に抱かれています赤ん坊は、今にも眠ってしまいそうです。
- (ウ) 彼は手芸が得意だそうですが、私は手芸に苦手意識があります。
- (エ) 明日は急激に冷え込むそうですが、対策はしましたか。

(5) 本文中の \square には、 \square の前に述べられていることと、後に述べられていることとの間で、どのような働きをする語が入るか。最も適当なものを、次のI群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、本文中の \square に入る語として最も適当なものを、後のII群(カ)～(ケ)から一つ選べ。

I群	II群
(ア) 前に述べられていることが、後に述べられていることの理由であることを表す働き。	(カ) \square のところで
(イ) 後に述べられていることが、前に述べられていることとは逆の内容であることを表す働き。	(キ) だから
(ウ) 後に述べられていることが、前に述べられていることの説明や補足であることを表す働き。	(ク) しかし
(エ) 後に述べられていることが、前に述べられていることとは別の話題であることを表す働き。	(ケ) なぜなら

【裏>>>へく】

(6) 本文の段落構成を説明した文として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア) 1～3 段落は話題を提示する序論であり、4～9 段落では具体例を提示しながら考察を述べ、10 段落で主張を述べるとい構成になっている。

(イ) 1～3 段落は序論であり、4～9 段落では筆者の主張と一般論とを比較し、10 段落で筆者の主張をまとめるという構成になっている。

(ウ) 1～3 段落で主張を提示し、4～9 段落で主張を補強する根拠となる具体例を述べ、10 段落で読者に疑問を投げかけるという構成になっている。

(エ) 1～3 段落は主張を含む序論であり、4～9 段落で経験に基づいた具体例を示し、10 段落で改めて主張を確認するという構成になっている。

(7) 真希さんと剛さんのクラスでは本文を学習した後、本文の内容を要約することになった。次の会話文は、真希さんと剛さんが話し合ったものの一部である。これを読み、下段の問い①～③に答えよ。

真希さん 私たちはいろいろなものを測りながら生きているんだね。10 段落で、「人間は万物の尺度である」という考え方には「人々の判断が麻痺する危険すらあるかもしれない」と述べられていたけれど、どうしてだったかな。

剛 本文全体を通して見ると、この考え方をを用いると、異なる感覚を持つ私たち一人一人の A はっきりしなくなるからだと読み取れるよ。

真希 なるほど。だから私たちは、複数の「測定する機械」が取り巻く社会の中で「数値を交換して」生活しているんだね。

剛 そうだね。むしろ「人間は万物の尺度である」という考え方には、「人間」と「万物」をどこまで適用させて深く考えるかが必要だと述べられていたけれど、それは B からだと解釈できるね。

真希 そうだね。本文をよく理解できたし、要約してみようか。

① 会話文中の A に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえ、何によって何がはっきりしなくなるのかを明らかにして十五字以上、二十五字以内で書け。…………… 答の番号【16】

下書き用
25
15

② 会話文中の B に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。…………… 答の番号【17】

(ア) よく見知った一部の人間が「我々」であるという認識が、その認識の外の世界との関係をゆがめており、「人間」という認識を拡大していくとき、社交性が身につく、「万物」の認識も広がる

(イ) 同じ文化を共有する人間が「我々」であるという認識が、その認識の外の世界との関係を閉ざしており、「人間」という枠組みを広げていくとき、「我々」を結びつける力が高まり、「万物」の理解にも変化が生じる

(ウ) 人間という生命体が「我々」であるという認識が、その認識の外の世界との関係に格差をつけており、「人間」という概念を捉え直すとき、相互理解が深まり、「万物」の枠組みも広がる

(エ) 普段から慣れ親しんだ人間が「我々」であるという認識が、その認識の外の世界との関係を定めており、「人間」という定義を再度思考するとき、価値観に変化が生まれ、「万物」の捉え方も変化する

③ 説明文を要約するときの一般的な注意点として適当でないものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。…………… 答の番号【18】

(ア) 文章全体を見通したうえで、結論に着目する。

(イ) 目的や分量に応じて、必要な内容を選択する。

(ウ) 正確にまとめるために、例や補足的な内容は余さず書く。

(エ) 短くまとめる場合は、表現を削ったり別の言葉で言い換えたりする。

三

次の文章は、「十訓抄」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)～(5)に答えよ。(12点)

この部分は著作権の関係により掲載していません。

〔新編日本古典文学全集〕による)

注

- * 召伯：周の政治家。
- * 甘棠の詠：ヤマナシの木の子を作ったこと。ヤマナシは召伯にゆかりがある。
- * 羊祜：晋の政治家。
- * 門客峴亭の碑を：弟子たちが羊祜ゆかりの峴亭という山に石碑を。
- * うちあらむ人：普通の人。 * 廉頗：中国の戦国時代の武将。
- * 棘を負ひし：謝罪するために、とげのある植物を自ら背負った。
- * 藺相如：中国の戦国時代の優れた家臣。ここでは廉頗が謝罪した相手。
- * みどり子：幼児。 * 情をむつまじくして：優しく愛情を注ぐことで。
- * 六畜：六種の家畜。 * むつる：なじんで親しくする。
- * 人倫：人間。

(1) 本文中の情に過ぎたる忘れがたみぞなかりけるの解釈として最も適当なもの

【19】

- (ア) 情けはその人を最も思い出させるものだ
- (イ) 人が情けを尽くすのは人に忘れられないためだ
- (ウ) 情けを尽くし過ぎるのはその人のためにはならない
- (エ) その人の情けは過去のものとして忘れられてしまった

(2) 本文中の [] に入る語として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

【20】

- (ア) 縁
- (イ) 恩
- (ウ) 仇
- (エ) 罪

(3) 本文中のよそに思ふべからずの解釈として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号【21】

- (ア) 他人だと思われてはいけない
- (イ) 他人の意見を気にしてはいけない
- (ウ) 他人を傷つけてはいけない
- (エ) 他人のことだと考えてはいけない

(4) 本文中のいふゆゑを歴史的仮名遣いで書かれている。これをすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。 答の番号【22】

(5) 次の会話文は、かおるさんと健さんが本文を学習した後、本文について話し合ったもの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

かおる 本文では、様々な例を用いて情けについて述べられているね。一つ目の段落と二つ目の段落から、どのようなことが分かるんだかな。

健 一つ目の段落と二つ目の段落をあわせて考えると、情け深い行いを第一にするべきだということは、時代や場所だけでなく、行う人

かおる [A] ことであり、大切なことであると読み取れるよ。

健 そうだね。また、三つ目の段落では、「みどり子」や「六畜」を引き合いに出して、思慮分別のある人間なら [B] はずだということ伝えているね。

① 会話文中の [A] に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、四字以上、七字以内で書け。 答の番号【23】

下書き用

4
7

② 会話文中の [B] に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号【24】

- (ア) 情けを尽くしても無理には応答を求めない
- (イ) 情けを尽くした相手が自分に感謝しているか見抜く
- (ウ) 自分が情けを尽くされたことを理解して行動する
- (エ) 自分が情けを尽くされたことがなくても気に留めない

共通学力検査 国語 答案用紙

三					二										一										問題番号	
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(8)		(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)			
⊖	⊕					⊖	⊖	⊖							⊖	⊖										
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の		
ア			ア	ア	ア	ア	ア		ア	I ア	ア	ア	I ア	ア	C 4 8 10 13 によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して	B 4 8 10 13	ア	加	ア	e ア	ア	ア	I ア	答 の 欄		
イ			イ	イ	イ	イ	イ		イ	イ	イ	II イ	イ					イ	イ	る イ	f イ	イ	イ		II イ	
ウ			ウ	ウ	ウ	ウ	ウ		ウ	II ウ	ウ	ウ	ウ					ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ		ウ	II ウ
エ			エ	エ	エ	エ	エ		エ	ウ	エ	エ	コ	エ					エ	エ	って エ	エ	エ		ク	II エ
										ケ	ケ	ケ	サ											採点欄		
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】			

共通学力検査	
国語	
受付番号	
得点	

共通学力検査 国語 正答表

三					二							一							問題 番号					
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(8)		(7)	(6)		(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
⊖	⊕					⊖	⊖	⊖							⊖	⊖								
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の 答の
⊕	(例) 立場を問わ ない <small>4</small> <small>7</small>	いうゆえを <small>4</small>		①	ア	⊕	⊕	(例) 主観的な評 価のゆらぎ によって真 実が何であ るのか <small>25</small> <small>15</small>	ア	I ① II ク		ア	① II ク	I ① II ク コ エ	(例) C 他者への理 解 <small>4</small> <small>8</small> B 認識の限界を 乗り越えるこ と <small>10</small> <small>13</small> 心 の 在 り 方 を 示 す も の によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して 加担	①	担	ア	e おちいる f さかのぼって ウ		①		I ① II カ エ	答の 欄
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄
2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	(各) 2	2	2	(各) 2	配点